

健康×コスパ×脱炭素

『北九州市健康省エネ住宅』の8つの要件

2025年義務化基準（等級4）

① 断熱性能基準

U_A値 0.87
[W/m²・K]以下



② 気密性能基準
なし！



● その他の特徴

- 局所冷暖房が前提
- 冷暖房費の算出義務なし
- 結露計算義務なし など

推奨基準（G2.5）

① 断熱性能基準

U_A値 0.38
[W/m²・K]以下



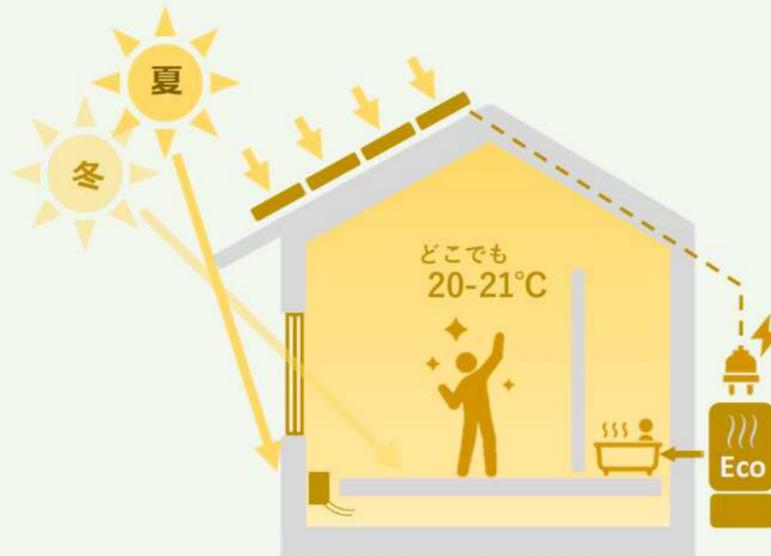
② 気密性能基準

C値 1.0
[cm²/m²]以下



③ パッシブデザイン

- 庇やシェードで冬の日射取得と夏の日射遮蔽をコントロール



④ 冷暖房計画（家中24時間冷暖房を前提）

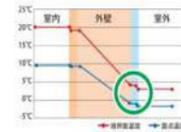
- 熱負荷計算及び年間冷暖房費の目安を算出/表示
- エアコンの運転方法等の説明

【参考】国が検討している表示制度



⑤ 壁内部の結露防止

- 結露計算で壁体内結露を防止



⑥ 省エネ・創エネ設備

- 高効率給湯器やLED照明の採用
- 太陽光発電の費用や効果の説明

⑦ エネルギーマネジメント（見える化・使用量最適化など）

- 太陽光発電とセットで自家消費率を向上させるエネルギーマネジメントシステムの説明

【例】天気予報を活用した日中余剰電力による湯沸かしシステム



⑧ 冷暖房LCC

- 建設時にかかる費用と冷暖房費の長期的なコスト比較を他等級等と比較して説明

【検討推奨項目】

○ 建物配置計画

- 周辺の建物による日影の影響などを考慮した建物配置計画

○ 湿度管理

- エアコンの再熱除湿運転等の活用による湿度管理方法のエンドユーザーへの説明

○ 太陽光発電の自家消費

- 太陽光発電の電力でエコキュート昼間運転
- EV(電気自動車)や家庭用蓄電池導入説明

○ 太陽光熱温水器

- 太陽光の注ぐ南側屋根面積が小さい場合等は太陽熱温水器の検討

など…

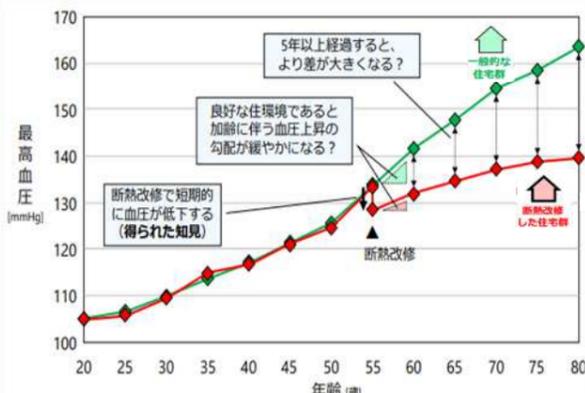
U_A値：断熱性能を示す指標。住宅の内部から床、外壁、屋根（天井）や開口部などを通過して外部へ逃げる熱量を外皮全体で平均した値で、値が小さいほど熱が逃げにくく断熱性能が高い。

C値：気密性能を表す指標。建物全体の隙間面積/延床面積。

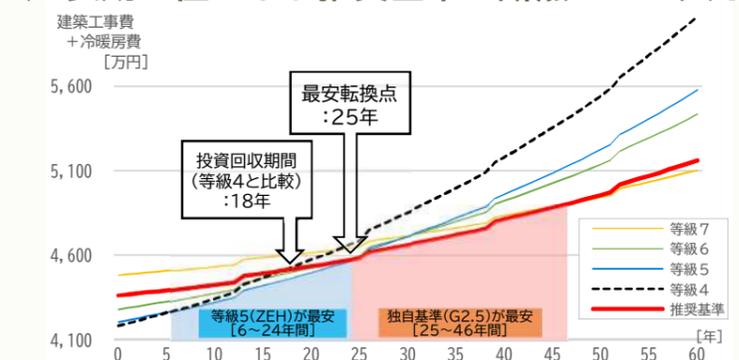
《数字で見る健康省エネ住宅のメリット》

◆ 住まいの断熱化で、血圧上昇を抑えて健康に！

循環器疾患予防の目標(▲4mmHg)に、住まい分野の追加が検討される時代へ



◆ 長期に住むなら推奨基準が断然コスパ大！



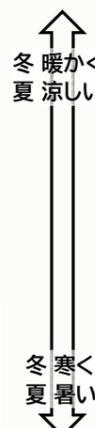
◆ 毎月の支払額も、初月からお得！

	UA値	毎月支払	うち ローン	うち 冷暖房
推奨基準	0.38	82,900円	76,000円	6,900円
等級4	0.87	90,200円	75,000円	15,200円

◆ 推奨基準なら家中24時間冷暖房でも脱炭素！

■ 戸建て住宅の省エネ基準比較(本市を含む6地域)

	UA ^{※1}	BEI ^{※2}	等級4と比較した暖房負荷増減率	
			局所間欠暖房 ^{※3}	家中24時間暖房 ^{※4}
等級7 (G3相当)	0.26 (0.26)	0.60	約75%減▼	約50%減▼
推奨基準 G2.5	0.38 (C値≦1.0)	0.66	約60%減▼	約20%減▼
等級6 (G2相当)	0.46 (0.43)	0.70	約50%減▼	概ね増減なし
等級5-ZEH (G1相当)	0.60 (0.54)	0.80	約40%減▼	約40%増△
等級4	0.87	1.00	比較基準	約110%増△



【資料】スマートウェルネス住宅等推進調査委員会 研究企画委員会 調査・解析小委員会 2023. 2. 14

※ 〇: 数値はスマートウェルネス住宅等推進事業調査等において研究調査中

※1 ()内は、HEAT20仕様による地域補正後のUA値

※2 基準(等級4)一次エネルギー消費量に対する一次エネルギー消費量の割合

※北九州市による独自試算結果

※4 本市による試算結果